

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年3月31日

施設名	港区立台場高齢者在宅サービスセンター（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区台場1-5-5	指定管理者	医療法人財団 湖聖会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 （共同事業体の場合記入）	令和8年3月までの改善状況等 （指定管理者記入欄）	令和8年4月以降の取組予定 （指定管理者記入欄）	所管課確認欄 （施設所管課記入欄）
当施設は、3年前に行った大規模改修工事の際に、工事の遅れや追加工事が発生し、施設営業に影響を及ぼした。その間、区内の他デイサービスを利用した利用者が当施設に戻ってくることは難しかったが、地域に向けランチ会やスタッフによる勉強会などの新たなサービス提供等、新規利用者の獲得に力を入れてきた結果、ようやく新規利用者が月平均3～4名に増加し、登録者数は80名に達した。今後も、地域に向けたランチ会や勉強会を継続すると共に、地域包括支援センターとの連携を強化することにより目標稼働率の実現が望まれる。		今年度に関しては、昨年度と比較しても通所介護・団らん室ともに稼働率の向上を認めた。地域住民向けランチ会や介護予防・健康に関する勉強会を継続的に開催するとともに、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへの定期的な情報発信を実施した。 また、ご利用者・ご家族のニーズに応じた個別機能訓練や栄養改善、社会参加活動の充実を図り、サービス品質の向上に努めた結果、新規利用者の受入れが安定し、登録者数及び稼働率の向上につながった。	令和8年度は、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関等との連携をさらに強化し、在宅生活を支える地域の拠点としての役割を着実に実行していく。 引き続き、地域住民向けランチ会や健康講座、介護予防事業等を実施し、新規利用者の獲得及び地域とのつながりの強化を図る。また、LIFEの活用による科学的介護の推進、多職種連携による個別支援の充実、重度化予防・自立支援の強化に取り組み、ご利用者満足度及び利用継続率の向上を目指す。	稼働率の向上に向けて、地域住民向けの取組や関係機関への情報発信が継続的に実施されており、新規利用者の増加など一定の成果が認められる。今後は地域包括支援センター等との連携を一層強化し、安定的な利用者確保と目標稼働率の達成に向けた取組の継続が期待される。
多職種が参加するケアミーティングを開催し、ケアプランの目標を踏まえ、利用者の意向、アセスメント結果をもとに課題分析を行っている。この解決に向けた通所介護計画書を作成し、個別のニーズに応じたサービスを提供している。さらに年2回嗜好調査を行うほか、毎日の夕礼やカンファレンスを通じて個々の意向の把握、これに応じたサービス提供など、定量的・定性的にニーズを分析している。事業目標では「お客様を知り、その方にあった個別ケアの実践」を掲げている。課題解決に向けてケアの質の向上など更なる取組が望まれる。		利用者一人ひとりの生活課題やニーズ・ホープの実現に向けて、多職種による情報共有と連携体制の強化に取り組んだ。ケアマネジャーやご家族との連携を密に図り、利用者の身体機能や生活状況の変化を適切に把握できる仕組みづくりを進めた。また、職員研修や事例検討を通じてアセスメント力の向上を図り、利用者のニーズを的確に捉えたサービス提供に努めた。 ご意見・ご要望をサービス改善に反映し、個別ケアの充実と利用者満足度の向上に取り組んだ。	引き続き多職種連携によるアセスメントと課題分析を強化するとともに、LIFE等の科学的介護情報も活用し、根拠に基づく個別ケアの質の向上を図っていく。利用者の生活背景や機能面に着目した自立支援・重度化防止の取組を推進するとともに、より質の高い個別ケアの実践を目指していく。	多職種による情報共有やアセスメント強化に取り組み、利用者ニーズに応じた支援の充実が図られている点は評価できる。引き続き、ケアの質の向上に向けた検証と改善を重ねるとともに、科学的介護の活用等により、より効果的な個別ケアの実践が望まれる。
「ふれあい団らん室」事業では、区内在住の60歳以上の方を対象に、レクリエーション、学習、交流、介護予防教室など、高齢者介護とともに複合的な地域の高齢者の活動拠点となるべく活動を進めている。さらにお台場ユークャンやレクリエーションでは、団らん室参加者も含め、地域の方々の協力で、様々なプログラムを構成できている。当施設では、地域との関わりを多く持ち、地域を支える基盤づくりに努めたいと振り返っている。目標達成のため、地域にアンテナを広げ、地域住民のニーズにより一層向き合うことが望まれる。		利用者アンケートや日々の聞き取りを通じて地域住民のニーズ把握に努め、その結果を事業運営に反映した。アンケートで要望の多かった健康づくり、趣味活動、交流機会の充実に取り組み、新たな介護予防プログラムを実施した。 また、参加者の意見を取り入れながら内容の見直しを行い、地域住民が継続して参加したくなる魅力ある事業づくりを進めた。	地域住民のニーズをよりの確に把握するため、利用者や地域住民との対話の機会を増やし、地域課題の把握とサービスへの反映を進めていく。 高齢者の社会参加、生きがいづくり、健康維持につながる魅力あるプログラムを提供し、地域に根差した高齢者の活動拠点として、より一層の機能強化を目指す。	地域住民のニーズ把握を踏まえた事業運営が進められており、参加促進やプログラムの充実に向けた取組が認められる。今後は、地域課題の把握をさらに深めながら、継続的に参加しやすい環境づくりと魅力ある事業展開を図り、地域における高齢者活動拠点としての機能強化が期待される。